一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団
The Japan Baptist Medical Foundation

シャローム shalom

No.129
2015.5

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、
神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。

朝礼という名の朝の礼拝

放射線科 山下（やました） 敬司（けいじ）

時の立つのは早く、つい先日に赴任したと思っていたのに、いつのまにか2回目の春を迎えました。桜の蕾が膨らみだしたと思う間もなく、シャロームの原稿依頼がきました。何でもよい、とのことなので、当院で最も印象に残ったことを書いてみたいと思います。

当院では毎朝チャプレンさんによる礼拝があり、全職員の持ち回りで5分間のお話をします。一部の方を除き自由参加なので、初めは照れもありほとんど出席していなかったのですが、美しい歌声に惹かれて顔を出して以来、週に数回寄せてもらっています。

職員であれば誰でも、年に1～3回お話の依頼がきます。テーマは自由なので内容は様々です。仕事に関連したことや最近の出来事や自分の趣味や感動したことなどなど。病院は狭いようで広いところなので、職種や立場が違えば知り得ないことがたくさんあり、毎回新しい気づきや感動を頂戴します。私は仏教徒（浄土宗知恩院派）なので当初は大変違和感があったのですが、今では最も楽しいひとときとなっています。

前置きが長くなりましたが、私たち放射線科・放射線室の紹介をします。場所は地下1階で医師・技師・看護師・事務合わせて10名の小さな所帯です。1年間に8,500件以上のCTやMRIをはじめ、いろいろな検査をさせて頂いています。1階や2階の外来から遠く皆様にご不便をお掛けしていますが、よろしくお願いします。

2015年度医療団標語聖句（ローマの信徒への手紙15章2節より）
おのおの善を行って隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。

News

眼科分離のお知らせ

このたび4月1日付けで一般財団法人日本バプテスト連盟医療団の一施設でありましたバプテスト眼科クリニック（北白川上池田町12）を事業再編のため医療団から分離することとなりました。分離独立に伴い施設の名称を「バプテスト眼科山崎クリニック」と改め新たにスタートいたします。

病院はおかげさまで開院六十周年を迎える運びとなりました。将来を見据えた発展的な分離を行い、それぞれが一層発展出来るよう更に病診連携を密により地域に貢献できることを目指してまいりますので、ご理解をお願いいたします。

Relay Column

バプテスト リレーコラム

vol.25 購買課

購買課 藤本（ふじもと） 慎吾（しんご）

購買課とは、読んで字のごとく購入に関することを行う部署です。

病院内で使用する文房具･日用品から手術に使用する医療材料まで、消耗品全般の購入だけでなく、供給、価格交渉、在庫管理等物流に関する様々なことを業務としています。

はっきり言って裏方の仕事ですが、日々の診療や手術に欠かせない材料を扱っていますのでとても大事な部分を担っていると感じています。

また、コストについても考えなければいけないのでお金がなるべくかからないようにすることも大切です。

節約できるところは節約し、整理整頓や必要以上に在庫を置かないようにするなど、一つ一つをとってみると当たり前でとても小さなことです。

しかし、この小さな積み重ねや細かい気づきこそが、私たちの仕事の大事な部分だと考えています。

普段はなかなか表にでる機会のない部署ですが、365日稼働する病院で安心して治療を受けて頂くための下支えとして、少しでもお役に立てるように業務に励んでいきたいと思います。

薬でつなぐ ちょっといい話

vol.3 手術や処置の前に注意が必要な薬

薬剤師 辻本（つじもと） 有美子（ゆみこ）

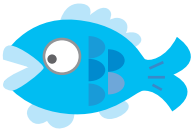
手術や抜歯、ポリープ切除など出血を伴う処置の前に注意しなければいけないお薬があるのをご存知ですか？

血を固まりにくくするお薬である抗凝固薬(ワーファリン錠、イグザレルト錠など)や抗血小板薬(アスピリンなど)は血を止めるのに必要な血のかたまり(血栓)ができる過程を抑えますので、出血したときに血が止まりにくくなります。このため手術や処置前には薬を一時的に中止(休薬)していただいています。この他にも血管を広げて血流をよくするお薬(オパルモン錠、ペルサンチン錠など)や脳の血流をよくするお薬(セロクラール錠、サアミオン錠など)も同様です。最近は抗血栓薬同士の配合剤や抗血小板薬と他の薬剤との合剤も発売されているため、注意しましょう。これらの抗血栓薬の休薬により血栓が起こる可能性が高い場合は、ヘパリンという抗凝固薬へ変更し直前まで点滴投与して対応します。

お薬が影響する期間は種類により異なり約1日～2週間と差があります。手術や処置でお薬を休薬する場合、いつからお薬を中止するのかを十分に確認しましょう。また普段からお薬手帳を持参し、抗血栓薬については覚えているといいですね。

健康・栄養　第13回 ～食こぼれ話～

「目には青葉、山ほほとぎす、初ガツオ」



管理栄養士
金子（かねこ） 緑（みどり）

これは、江戸時代の俳人、山本素堂の俳句です。
初夏の時期、目にはさわやかな若葉の色が映り、耳にはほととぎすの鳴く声が聞こえ、口には初ガツオの美味が味わえる、視覚、聴覚、味覚で初夏を堪能する句です。

カツオは古くから馴染みの深い魚で、古事記にも登場し、縄文時代にも食べられていたようです。江戸時代に初ガツオは高級で庶民が食べられることは少なかったようですが、特に初物好きの江戸っ子には珍重されていました。土佐藩では食中毒の恐れからカツオの生食を禁じたそうで、そのため表面をさっとあぶった「たたき」が有名になりました。

初ガツオと戻りガツオって？

回遊魚であるカツオは南の海から黒潮に乗り、いわしなどを追って北上を始めると、夏には三陸～北海道沖までに達し水温の低下とともに南下します。新緑の頃に獲れるカツオを初ガツオと呼びますが、まだ脂が乗り始めなので、淡泊な味わいが特徴です。その後、北上と共にたくさんの餌を食べ、秋口に南下始めるころにはたっぷりの脂が乗り、戻りガツオと呼ばれるようになります。初ガツオと戻りガツオでは、脂肪の量が約10倍も異なります。

あっさりの初ガツオ、こってりの戻りガツオということですね。

カツオの栄養価

カツオのたんぱく質は良質で、疲労を軽減する効果やうまみ成分のイノシン酸などが含まれています。

特に「血合い」の部分にはビタミンB12やナイアシン、鉄、タウリンなどが含まれ、脂肪にはEPAやDHAなどの不飽和脂肪酸が含まれ、これは血中のコレステロールや血栓を防ぐ効果があると言われています。

当院でも今月、「カツオのたたき」をお出しする予定です。（病状によりお出しできない場合がございます。ご了承ください）大文字山の新緑とともに初夏を感じていただければ幸いです。

聖書の小道

第19回
「手の業・心の業」

『主よ、助けてください』と叫んだ。
イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ

マタイによる福音書
14章30～31節より

牧師・チャプレン　宮川（みやがわ） 裕美子（ゆみこ）

湖の上で沈みそうになり、助けを求めた弟子の叫びを聞き、イエスはすぐに手を伸ばして弟子を捕まえられました。他にイエスがどのようにその手を用いられたのか―イエスの手に注目して福音書を読むと、祈る、パンを裂く、与える、祝福する、触れる、手を取る…などがあります。「触れる」と「手を取る」は癒しのためであり、いずれも人々のためにイエスの手は用いられており、手の業でその心を示しておられます。

医療団では「手の業・心の業が守られますように」と祈ります。それは主イエスの心がわたしたち、人の手の働きを通して形となるためです。

歴史 HISTORY　バプテストの歩み　第12回

1964年2月には旧病院の南病棟・外来増築工事が起工されました。京都工芸繊維大学建築学科の鈴木良助氏指導のもと、宝建設設計部が設計、施工は宝建設・影近設備・沖電気に依頼をしました。

3月には米国ルイビルの南部バプテスト神学校に在学中、アトランタのバプテスト病院で臨床牧会カウンセリングの実地訓練を受け帰国された戸川隆牧師(神戸バプテスト教会)ならびに同志社大学神学部の樋口和彦先生、西南学院大学の近藤裕先生を中心に、牧師・医師・看護師。ケースワーカーなどが集まり、臨床牧会カウンセリング(患者・家族との全人的な関わり方)についての研鑽を行う場として、「第1回牧会カウンセリング臨床セミナー」が当院で開催されました。

4月1日には初めて日本人医師である大林静男院長が3代目院長として就任されました。

9月1日には2月から工事を行っていた南病棟・外来増築工事が竣工、30床増床して124床の病院となりました。

そして1965年3月1日からは3階南病棟の運用が開始されました。

催し物予告

医療団
チャペルコンサート
～愛にあふれて～

日時：2015年5月27日（水）午後3時15分～3時40分
出演：三好 三恵子 氏（歌）、志垣 のぞみ 氏（ピアノ）
会場：バプテスト病院3階チャペル

都合により、変更・中止の場合があります。
ご了承ください。

献金・献品 感謝ご報告 （2015.1.1～2.28）敬称略

西南学院バプテスト教会　東 愛子　内田 栄
南千里バプテスト教会　福島 信子　田﨑 敬章
谷口 千代子　武田 言行　玉虫 照代　佐々木 かつ子
日本キリスト教団 京都教区 京都南部地区 代表 今井牧夫

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法
寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替
記号番号　00960-4-282133
加入者名　一般財団法人　日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先
日本バプテスト連盟医療団 経理課
電話（075）702-5926

お知らせ

医療団
ホスピスボランティア募集

日本バプテスト病院では、月～土のいずれかで13時～16時頃までティータイムのお世話やベットまわりの整理整頓、話し相手などをしていただける（1年以上活動できる20歳以上の方）ボランティアを募集しています。

※ 活動開始7月～

園芸・蘭の知識のある方・パソコン作業・ソーイングできる方歓迎致します

下記の説明会＆面接・研修会の両日に参加が必要です。
参加希望の方は必ず事前連絡をお願い致します。

説明会＆面接（筆記用具持参）
2015年5月16日（土）13：00受付 13：30～16：00

研修会
2015年6月13日（土）13：00受付 13：30～16：00

両日とも、場所は、（財）日本バプテスト連盟医療団
看護専門学校内 イマヌエルホールです。
http://www.jbsn-kyoto.com/access.html

T E L　075-702-5927
F A X　075-701-9996
メール　volunteer@jbh.or.jp

担当
総務課 松屋・山本

問合せは「ホスピスボランティア応募」と明記し、氏名・住所・年齢・電話番号・メールアドレス等を、FAX 又はメールにてお願いします！

編集後記

バプテスト病院は今年で開設60年になります。

ながらく北白川地域住民の健康を支え続け大学病院にはないアットホームな雰囲気が好（高）評価を頂いた結果ではないかと自負しておりますが、きもち新たに、いっそう努力して参ります。 m(__)m

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだと、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。
当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.129　2015年5月発行
発行／一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団　発行人/代表理事 北 堅吉　編集／日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。
著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 http://www.jbh.or.jp/
バプテスト老人保健施設 http://www.jbh.or.jp/roken/
日本バプテスト看護専門学校 http://www.jbsn-kyoto.com/
バプテスト訪問看護ステーション しおん
バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック http://www.jbh.or.jp/bhh/
バプテスト緩和ケア訪問看護ステーション http://www.jbh.or.jp/sisetsu/houmonkango.html
バプテスト緩和ケア居宅介護支援事業所
バプテスト居宅介護支援事業所